

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

## 議会広報広聴調査会記録

平成 28 年 11 月 16 日(水)

9 : 55 ~ 12 : 02

議 会 第 1 委 員 会 室

- 【出席者】 芦谷委員長、串崎副委員長  
 足立委員、岡野委員、柳楽委員、小川委員、野藤委員、  
 飛野委員、平石委員、牛尾昭委員
- 【事務局】 外浦次長、田中書記
- 

### 議 題

#### 1 議会報告会の反省

##### (1) 地域井戸端会の意見要望等について

- ・ 報告書を項目ごとに振り分け→次回協議
- ・ 一般質問等に活用（報告書を全議員に配布）

※市議会だよりに総括を掲載し、参加者が確認することが重要

##### (2) 来年度の開催について

- ・ 平成29年5月11日(木)～13日(土)【予定】

5月11日(木)19:00～20:30 三隅公民館、波佐公民館

5月12日(金)19:00～20:30 弥栄会館、旭センター

5月13日(土)14:00～15:30 美川公民館、国府公民館

5月13日(土)18:30～20:00 浜田公民館、周布公民館

- ・ 運営：地域井戸端会とし、その中で少し時間を取って3月定例会(当初予算等)の説明をする。

- ・ 班編成：班長以外の委員を変更する

#### 2 その他

- ・ 平成29年行政視察について 4月中旬(予定)

幹事：牛尾昭委員、野藤薫委員

## 【議事の経過】

[ 9時 55分 開議 ]

- 芦谷委員長 議会広報広聴調査会を始めます。早速議題に沿って進めますが、その前に前回の広報を作ってもらいましたが、澁谷議員の「学校現場の時間外について教育委員会は認識しているか」という質問だったようだが、我々の失敗で、写真のキャプションの事務局というのがそのまま本文になってしまして。我々のミスだったと思いますが、嚴重な抗議がありました。そのことを報告しておきます。副委員長、何か補足がありますか。
- 申崎副委員長 今言われたとおりです。本人としては直すなら事前に一言あってしかるべきだろうと。自分は推敲に推敲に推敲に推敲を重ねて原稿を作ったはずだが直されたと、大変ご立腹でした。直す場合は本人さんのご了解を今後得るべきという話になるかと感じました。
- 芦谷委員長 何か他にありますか。
- 野藤委員 中身が変わっていたということですか。私はキャプションが違うからと、キャプションを直した気がしたんですが。
- 芦谷委員長 キャプションも本文も変わっていたんですね。私どものミスだったと思います。牛尾昭委員。
- 牛尾昭委員 具体的にどこの箇所がどういうクレームだったのかを僕らも確認しておかないと、今後その指摘に対して頭に入れておかななくてはいけない。
- それと、例えばこの委員会で言えばM議員のチェックなんかは原文に基づいてチェックを入れるわけです。正しい議会報告の原稿を作るよう努力しているわけです。だから常任委員会としてこの広報広聴委員会に委ねられている部分もあるので、そこに向けて言われのない言いがかりを受けるのは問題があるだろうなど。澁谷議員の方に問題があるだろうなど思うので、本当にどうだったかは確認する必要があると思う。澁谷議員の言うとおりであったというのか、それとも澁谷議員の弁は言いがかりじゃないかとか、それを明らかにしておかないと今後の編集作業において問題があるのではないかと、私は個人的に思うんですよ、皆さんがどう思われるか分かりませんが。
- 田中書記 43号個人一般質問のところで、まずキャプションです。キャプションと2番目の質問ですが、最初の原稿では質問の所が「教育委員」となっていました。ここも教育委員室か何かになっていますよね。それで、ここは音声を聞くと野藤委員さんが言われて変えたのが、音声が残っているんですが、皆がしゃべられていて音声聞き取り難くて、その時にここを私が直しているの、その場で皆が言われて赤字で直したんですよ。なので、こ

野藤委員	ことここを直すという確認をしなかったというのがまず1点ですね。
田中書記	本文の方から直してしまった。
平石委員	本文の方も直してます。それは指示があって直したんですけど、皆さん
田中書記	ガーッと言われている中で……だからことここを直すという後の再度の
芦谷委員長	確認がなかったかなと。
田中書記	教育委員会事務局と本文の中も変えてしまったから……。
芦谷委員長	上もそうなんですよ。キャプションを変えたからここも変えた。
牛尾昭委員	だからそういう面大変申し訳ないんですが、ただ、意味とすれば教育委員
芦谷委員長	と事務局とで違うんだけど、こちらとすれば包含していることなので
岡野委員	何とかご理解をという話はしたんですけどね。言いましたように、そうい
牛尾昭委員	うことが今後ないように、原稿を出した人の気持ちをしっかり汲みながら
芦谷委員長	書くように一層注意したいと思います。
岡野委員	これ、事務局が外れていれば問題なかったという認識で良いのかな。本文は。
芦谷委員長	はいはい。
岡野委員	キャプションを直したつもりだったんですよ。
牛尾昭委員	キャプションはこれではおかしいという話があったじゃない。本文まで
田中書記	直せという話はなかったの、記憶になかったんですけど。
芦谷委員長	ここも教育委員だったんです。
野藤委員	教育委員。
岡野委員	だから、これは教育委員会じゃないから教育委員会事務局にしようとい
田中書記	うことで、事務局と付けた。それは私が言ったんです。
野藤委員	教育委員会は組織の名前であって、風景は事務局なんで、そういうこと
芦谷委員長	を言ったと思ったんだけど。
野藤委員	それで、質問の所は教育委員になっていたんですよ。
芦谷委員長	それはそれで良いんだ、別に私はそのままだと思ったんだけど。出来た
野藤委員	分まで最後見ていないから。お互い思い違いがあったということだ。
芦谷委員長	最終チェックは正副委員長でしましたので、私どもの責任ということ
野藤委員	でした。

## 1. 議会報告会の反省

### (1) 地域井戸端会の意見要望等について

### (2) 来年度の開催について

芦谷委員長	では議会報告会の反省です。地域井戸端会の意見要望等について、各班
野藤委員	から提出していただいたのを報告書として纏めています。これを見ていた

だいても良いと思いますが、今後の扱いを議論していただきたいと思いま  
す。

今回2回目なのですが、聞きますと前回はそのまま委員会等での審議の  
反映や一般質問への転化はあったようですが、前回についてはほとんど何  
もしていないとうかがったんですが、今回は出た意見についてどう取り扱  
うかについて、当委員会内で決定したいと思えます。よろしくお願いま  
す。

自分の出席された会のことを思い出しながら、どういった感じをお持ち  
か。この報告書の今後の活用についても意見があればお願いします。そ  
の在りようについてはまた後で意見しますので、意見要望等の扱いについ  
て、まず議論したいと思えます。牛尾昭委員。

牛尾昭委員

お時間をいただかないと今日初めて見たので。自分らの所は分かるけど  
他の所の意見は僕はまだ読んでないので。自分らの担当の所だけ意見を言  
えと言われるなら言えるけど、全体的に言えというなら少し時間を貰わな  
いと困るんですが。

芦谷委員長

それではあの時計で15分まで。

《 資料熟読 》

芦谷委員長

今見ていただいた所で、報告書に書いてある意見や要望に対する今後の  
扱いについて、どうお考えか伺いたしたいと思います。野藤委員。

野藤委員

ある程度項目分けとかグルーピングしておかないと、なかなか難し  
いんじゃないですか。行政に要望することもいくらかあると思えますし、  
議会に対することも何項目という感じがするので。地区を外して出来るこ  
とが多いような気がする。項目を分けてされた方が分かり易いかと思  
いますけど。

芦谷委員長

グルーピングした後は。

野藤委員

後はそれを討議して、集約すれば良いと思えます。陳情的な物はあまり  
出されていないから。

芦谷委員長

他にあればお願いします。足立委員。

足立委員

まず岡本班でやって感じたことは、女性参加者が少なかったという点が  
1つ。それについては時間的な変更で対応可能なのかなと考えられました。

あとはやはり、今回全戸配布しているんですが知らない人がそれでもた  
くさんいたということで。チラシを見る確率的に言うと1パーセントなん  
ですが、戸別配布も効果が薄いのかなと。これも大きな課題だろうと考

ています。

それと広報広聴委員会で各班の自主性に委ねた部分もありましたが、ただ統一的な部分がはっきり出来てなかったという点を感じました。その辺りは広報広聴である程度、指針なり方針なりを明確にすべきだったのかなと感じています。

それから、今年2年目なんですがこの井戸端会をする意義に関して、全議員で意識の統一を図るべきだったんだろうと感じました。

全体的なことはこれくらいにしておきます。

芦谷委員長  
足立委員

はい。この報告書の扱いについては。

中身ですか。中身はそれぞれの班に報告すべきことなので良いかなと思うんですが。この報告書を今ざっと読んだ限り、やはり要望になってくるケースが多いのかなと思ったんですが、昨日うちの班で話し合った時に出たのが、どうしても地域井戸端会に議員が臨む際、市民からのそういった要望を頭ごなしに受け付けないという姿勢、聞かない姿勢が最初にあったかなという反省点がありました。そうではなくてそういうのを聞く時間もあっても良いのかなと。意見を市民からしっかり吐き出していただきながら、本質的な部分に入っていければこの会の意義が見えてくるのかなと感じました。

あと、この報告書とは別の話になるんですが、地域井戸端会というものが住民自治、今までみたいに行政が住民に対して行政サービスを出来ないというのが明らかになっているので、行政においても議員においても住民自治を基本とする方向性に変わっていく時代になっている。その中でこの地域井戸端会の位置づけを明らかにして、住民自治の確立に向けて、これが1つのきっかけ作りになれば一番良いのかなという意見も出ていました。

すみません、報告書の中身についてはほとんど触れていませんが。

芦谷委員長

はい。他に。出来ればテーマを絞って、この報告書の今後の扱いについてまず議論したいと思うんですが。牛尾昭委員。

牛尾昭委員

今回2回目ということで岡本さんと一緒でしたけど、今言われたようにファシリテーターに徹するという範疇を越えて言いたいことを言わせろということだったので、では臨機応変にやろうと。相手が求めているものを認めざるを得ないだろうということで、その辺も含めて金城では……参加者も結構多かったです、女性も多くて。参加された方全員から意見を聞かせていただいた。貴重な意見も出てきて非常に有効だったと。これくらいどこの場所でも参加者があって意見が出るようであれば、井戸端会の本旨に則ったやり方なんだろうなと思いました。

それから、他の会場も読ませていただきましたが先ほど野藤委員が言われたように、議会として広報の問題ですよね。それから例えば時間帯の問題とか、参加人数を表示した方が「なんだこんな少ないのか」というアピールがあった方がもっと出るんじゃないかという指摘もあったので、我々が広報広聴委員会として更に来ていただくためにどうすれば良いかという答えがこの中に入っている。それはそれで貴重な纏めなので。これは議会全体ではなく広報委員が受け止めなければいけないことなんだろうなと思っています。更に言えばこのことについて我々の班は事前に地域に入ってチラシを配って、全戸訪問ではないですが公民館中心の所をそれぞれ1人何十軒か歩いて、こういうことをやるので是非来てくださいとお願ひしました。ただ、金城については自治区の関係で動員をかけていただいたので、そこそこ集まっていた。上府については我々歩いたんですがわずか9人でした。ただ議論は結構盛り上がったということで、やはり試行錯誤の中でどうやったら来ていただけるかということが、今回の中で少し見えて来たのかなと思います。

それから、報告書を読んでいくと、びっくりしたのが長沢で公共交通が不便だと。買い物弱者なんだと。長沢でさえ出ているとのことなので、執行部にも言わなければいけないでしょうし、我々もどう捉えてやっていくか。あと中山間地域で言えばイノシシの問題、人材の問題があります。

なので先ほど野藤委員が言われたように、ある種纏めをして執行部に要望・要求すること、それと我々の誰がするのかということもあります。一般質問のテーマとして掲げなければいけないということが。大まかな色分けをする必要があるんじゃないかなと。

纏めすれば井戸端会2回ありましたが、議会報告会より井戸端会の方が、市民の方が自分の意見をテーマに沿って言えるということで、目の輝きが違うなど。特に今年の金城と上府では感じましたので、引き続きこの事業については引き続き向上しながらやっていく必要があるんだろうなと思いました。

芦谷委員長  
野藤委員

野藤委員。

2回目なんです。改善する点もあるし広報の問題もあります。2ヶ所とも布施班はお願いに回ってこられたということで。我々がただチラシを全戸配布したからということでなくて、声をかけていくことも必要だろうなと。ああいうワークカフェ方式というか、小さい範囲のテーブルでの話し合いというのは、市民の方も物を言いやすいというか。どうしても多少陳情になりつつありましたが、そこはファシリテーターの采配でより良い意

芦谷委員長  
飛野委員

見を出すように持っていけば、まだ良くなるのではないか。先ほど足立委員が自治意識だと言われましたが、やはり町内会の方もこれじゃいけないな、人が少ないという意見も中にはありました。3回目は声をかけてもう少し人が出てくるんじゃないかと感じています。2回でこれだけしか来ないからやめようではなくて、続けていくことが必要だと思います。

他の方お願いします。飛野委員。

この結果の取扱いの話が先ほど出まして、その件について私が思うのは、報告会についてはちゃんと回答するという形の中で進んでいる。今回の地域井戸端会については趣旨説明においても議員と共有する、課題を共有するという趣旨説明で始まっているので、ちょっと違うと思うんですね。だから今後この取り扱いについて云々、正式な要望があればその中で回答してあげるに越したことはないんだけど、飽くまでもそうであれば趣旨説明部分のレジュメを変えていく必要があるかと思っています。課題を共有しようという趣旨でやっているのだから、回答部分までは今回いかないのではないかと私は思っています。

それと、先ほどからどうしても人集めの話が出ていますが、多い所で30弱、また非常に少ない所もある中で。私も今回地域に入って、こちらから出向いて行く格好で会場設定してやったわけだけど、それにしても日が暮れてから家を出るのは本当に地域によっては難しい部分がある。実際に「こんな晩にこんな公民館まで行けるか迎えに来てくれるのか」という話まで飛び出しました。なるほどなど。暗くなったらもう出ないという地域によっては、時間帯の問題もあるなど感じました。

芦谷委員長  
小川委員

他の方お願いします。小川委員。

岡野、笹田班ということで2ヶ所行きましたが非常に参加が少なかったです。原井で言うと市役所関係の方を除くと4名、杵束は3名。ですから当初、サブテーマをそれぞれ3つずつ考えていましたが、どちらも最終的には1つのテーブルを囲みながら意見を出し合いました。参加される方というのは自分の言いたいことを持って出てきて、これだけは言おうかなという話を井戸端会が始まるまでにされていた方もいました。例えば原井で言うと、水産加工団地を担当している町内会の方が、外国人をたくさん押し付けられるのはかなわないとか、区分け等を何とかして欲しいとか、あるいはもう一人の方は下水道整備も出来ないようなことで、いいまちができないと最初から思って出られたとか。そういう所を中心にしながら、少しずつそれ以外のことも話し合ったんですけど。一般の方から意見を出していただく会という意味では、春にやるような、こちらが一方的にする説明

に従ってそれに対する質問ではなく、意見を聞く場としては非常に効果があるのではないかと思います。杵束の場合については昨年安城の方でありましたが今年は杵束でしたが、去年は二十数名集まって3つの班に分かれましたが今年はそれだけ少なかった。特に弥栄の場合はIターンの方が多いいということで、言われていたのはIターンの方と元々住んでおられた方との認識の違いという意味で、もう少し定住化を考えた時にはIターンの人たちの意見が吸い上げられる場が必要ではないかとか。実際に住んでおられる方の子どもさんたちが都会に出られて、帰ってこられるようなまちというのはどうすべきだということでは言われていました。上野さんもガンリンスランドがなくなってしまう話と合わせながら、弥栄に2ヶ所ありますがそれも人口が減っていくと難しいなということで、住み続けられるというのが弥栄でも中心的な課題だったなと思います。報告書にそういった点については纏められていると思うので、行政側にどの範囲までかは分かりませんがいくらか伝えた方が良いかと思いますし、あとはこう見た時に、議会側として検討して工夫というのは、班では事前にそういう呼びかけ等をされたという話がありましたが、我々の班はまったくそういうこともしていませんでした。来場者の見通しもない中で開催したという意味では、もう少し集まる人を増やす努力が必要だったかなと思っています。来られた方というのは自治会役員、自治協議会役員をやっておられる方が中心になっているんですが、その中でももう少し働きかけを強くしようじゃないかということも言われていましたので。そういった所でもう少し人が、女性が集まれるような設定はどうだろうかという話もありましたが、日中の時間にやっても難しいし、土日の日中にやってもなかなか参加できていないという今までの経過があるという話も出ました。

芦谷委員長

はい分かりました。他にあればお願いします。是非発言のない方。柳楽委員。

柳楽委員

この報告書に関しては先ほどから皆さんも言われているように、行政側に出すものは出して回答が得られるものがあれば回答いただいた方がいいんだろうと思います。前回もそうだったと思いますが、一般質問でされる方もあったと思いますし、議会だよりに載せた部分もあったと思うので、そういう方法は取った方が良いかと思います。

芦谷委員長

はい、ありがとうございました。他の方はどうですか。平石委員。

平石委員

野藤さんの言われたとおりテーマごとに項目をばらしてでもやった方が良いかと思います。今日すぐというわけにいかないよね。会派持ち帰りかなと。

芦谷委員長

また後で。他の方は何かありますか。まだちょっと纏めようがないんで

すが、1人だけ趣旨説明の時に執行部に伝えるということは言っていないという所もありましたが、大方は地域の要望としてそれなりに処理するという方法が良いなと思っています。その方法は別として。

もう1つ問題になるんですが、市民の方の関心を高めようという意味ではきちんと行って参加して言ったことが形になることが大事なので、是非後の対応について示した方が、次からの展開がしやすいと思いますし。まだ2回目で試行錯誤なので、皆さんの意見を頂戴しながら、後の調査会が盛り上がるような形に処理が出来ればと思っています。従って私とすれば、出来ればこれをテーマごとにばらしてでも少し整理しながら仕分けして、議会内で処理するものもあるでしょうし、場合によっては執行部に伝えてそれなりの回答をいただくもの、あるいは議会として回答するもの、そういったことの整理をしたらと思っています。他に何かあれば。野藤委員。

野藤委員

これを参加者の人もどこかで確認をする、ある程度の回答ということになります。総括したようなものを議会だよりなり、執行部に回答を求めるものは何項目か書いて、井戸端会があってこういう意見もあってこういう回答、こういう方向にしますというのを指し示す必要があるだろうと。それによって参加した人は「ああやっぱり行って良かった」という思いを持たれる方が良いでしょう。

芦谷委員長

牛尾昭委員。

牛尾昭委員

広報広聴常任委員会として今のような纏めをする中で、全議員それぞれ参加しているわけですから、年4回ある一般質問の中で取り上げる姿勢を我々議員は持たなければいけない。誰かやるだろうではなく、せめて年1回くらいは自分がやれば良いんだけど。井戸端会にこういうテーマがあって、今回自分はこういうテーマで取り上げましたと。そういう姿勢を各議員が持つ。そういう姿勢というのは、井戸端会で言えば取り上げてくれるという事の「見える化」というか市民の方に届く一般質問の舞台であれば、井戸端会に参加される方の励みになって、更に参加しようかなもっと言ってやろうかなということに繋がっていくのではないかと。ワールドカフェというのは本来そういう一面があるので鎌倉市議会が取り上げた。人間関係が希薄な鎌倉の中でそういうことをやって市民の関心を議会に向けようという意図で始まったわけですから、そういうことを我々、特に田舎ではこまめにやっていく必要があるんだろうなと。私は12月議会でたまたま金城の問題を取り上げようと思いますが、それを委員会として委員長に纏めてもらって全議員に委員会としてお願いをする姿勢は必要だと思います。分かりました。今奇しくも出ましたが、もう日がないので急いでやって、

芦谷委員長

この中で各議員がそれぞれご理解いただいて一般質問に転化出来るような案件について少し整理していただいて、各議員に連絡をするというか。こういうことがあったから活用してくださいというようなことを、しても良いのかな。

牛尾昭委員

だから委員会の中で総意というか1つの結論を出して、強制は出来ませんからお願いをします。広報広聴委員会でこういう結論に至ったので、井戸端会の案件を活かしていずれかの一般質問の舞台で是非取り上げていただきたいというようなことは、委員会として言えると思いますよ。受ける受けないは別ですけど。

芦谷委員長

はい分かりました。では委員会でこれを纏めてもらわないといけないけど、だいぶ日にちがかかるよな。

田中書記

事務局としては先ほども言いましたように、毎回趣旨説明の方で言っているように、「これは飽くまでも課題を共通認識するもので、答えは出せない場合があります」というのを。1回目にやった時の基本だったので、これは言い続けてもらって構わないと思っています。

先ほども言われましたように、項目別に分けて、まずここで分けたものについて討議するのが筋だと思うんですよ。すぐ皆さんに諮るのではなくて。これを読むと地域の課題が多いので、執行部に下ろしたとしてもいつも分かり難いんですよ結局。なのでまず分けたものをここでまた見てもらわないと思うんですが。それから全議員さんにお諮りするというのは賛成です。

芦谷委員長

田中さんの方から、整理したものを討議するという話がありましたが、なかなか日にち的にね。このまま配って見たらどうかなと思っているんだが。こういうことがあったから見ていただいて、是非一般質問等に活用してくださいと。柳楽委員。

柳楽委員

それは、一般質問に活用してもらおうための方法ですよ。田中さんが言われたのは多分、執行部に下ろしたりする段階の所で、ここで一旦纏めてということだったと思うんですよ。時間があまりないからということなんです、それをいつまでにやった方が良いのかですよ。

芦谷委員長

牛尾昭委員。

牛尾昭委員

今の話を2つに分けて、ばらして纏めるというのが1つ。その結果がなければ一般質問でやってくださいと言えないというのではなく、それはそれでちゃんとやって、一般質問については時間もないんだけどこれを見せて、こういうテーマがあったんだけど今回の質問に活かしていただきたいという要請はしても良いと思うんですが。柳楽さんが言われたように、ばらし

た分のディスカッションをここで一応やっておかないと。これは執行部へ、これは議会側のテーマだよねという色分けをちゃんとする必要があるので、それはそんなに急がなくても、今年中にやれば良いような問題だろうと思います。分けてやりましょうよ。

芦谷委員長

柳楽委員。

柳楽委員

そういう方法か、今ここの委員会の皆さんでこれを見て、これは執行部に送った方が良いとか議員対応とかいう形に分けてしまうかですよね。それを検討する。

牛尾昭委員

委員長、広報広聴委員会ですから班がそれぞれ纏めていただいたものを我々が責任を持って区分けして、どうするかはここで決めた方が良い気がするんですがね。

芦谷委員長

分かりました。それではこうしたらどうですかね、これ見ればだいたい色分け出来るので、相談しながらある程度分野ごと分類ざっとやってみて、それで一覧になったものを見てもらってから議論するというで。ここで見たりすると時間かかるので。もう少し政策分野だとか整理をしながら、また議論するということにしてはどうですかね。そういうことで良いですかね、はい。

ではこの分については……。

田中書記

このものをで良いですか。

芦谷委員長

このものを広報広聴委員会の名前をもって整理したから、もし良いものがあれば一般質問等に活用していただきたいということを連絡してもらえますか。

田中書記

全議員にですね。

野藤委員

一般質問の時に一言添えるだけでも良いですよ。自分の質問の中で「どこどこ地区の意見交換会に出たように自分も思う」と一言添えるだけでも、それが吸い上げられた格好になるので、一般質問の中にそういう形で出来れば入れていただきたいということで。

平石委員

意見があったという事実がどんどん出る。

牛尾昭委員

ここにいるメンバーだけでも、そういうサインを市民に届ける。それが動員に繋がるんじゃないかなという気がします。

芦谷委員長

では各議員への依頼文については委員長にご一任いただいて、各議員に連絡するというで。これの後の報告書の中身の扱いについては少し資料整理しながら、この次に議論するというにしましょう。

参加者の状況とアンケートについて説明をしてもらいましょうか。

田中書記

( 以下、資料をもとに説明 )

これを見ていただきながら、来年度の開催について話をさせていただけたらと思います。

芦谷委員長

今の参加状況とアンケートを少し読み込んでいただいた方が良いかなと。5分間ほどアンケートを見てください。

《 資料熟読 》

再開したいと思います。参加状況やアンケートを見ていただいて、質問を含めて何か意見や、今後のあり方等、あればお願いします。柳楽委員。

柳楽委員

まず金城であった分について、チラシとかにも意見交換とあるんですがこのことに対して、議員が何かを言う場ではないのという話になった時に、でも意見交換とあるじゃないかという指摘が入って、最初に問題になったんですよ。それを今後どうしていくのかも考えないといけないと思いますし、井戸端会自体を、皆さんから課題や要望を出していただくだけの場にするのか、それとも地域の人たちにその課題に対してどういう解決方法があるのかという所まで話をさせていただく場にするのかというところで、全然違ってくると思います。今の状態だと要望や課題をただ挙げるだけという状態で、多分その場に来られた方も不完全燃焼のままで終わってしまっていて、尚且つ時間がすごく少ないので、余計不完全燃焼のまま終わってしまうというところに問題があるのではないかと思います。

芦谷委員長

他の方お願いします。牛尾昭委員。

牛尾昭委員

今の話に関連しますが金城会場で、意見を言わせてくれとことがあったので、布施班長が飽くまでも議員はファシリテーターですからということと言ったんだけど、それでもなお言われたので。僕も臨機応変にやりましょう、市民が求めているものがそこにあるなら、我々のスタンスと向こうのスタンスは違うわけですから、違うよと突っぱねたら井戸端会にならないので、それは受け入れて次に進んで、それはそれで良かったと思います。何度も言いますがまだ2回目ということもあるので、参加される市民の意識改革がまだ出来ていないというか、敢えて改革する必要もないかもしれないし、重ねていく中で求めているものを見せるのが我々の仕事だろうと思うので、我々はスタンスを持ちながらも参加される市民の方にある種寄りそのような会の運営を。なかなか言葉に出来ない部分もあると思うけど柔軟な対応をしていくことが各議員に求められているように思います。なので、あまり杓子定規ではないが本筋はありますよというスタンスを、

我々は共通認識をもって臨む必要があるんだろうなど。特に金城会場ではそう感じました。

芦谷委員長

野藤委員。

野藤委員

私はお互いの気づきと、その気づきの認識を共有することだと思います。それによってどういう方向性を持ってやるのかを、住民と議員が話し合っ  
て深めていくということだろうと思います。だから最初に、この会は皆さんに思っていることを言ってもらって我々が分からない部分を気づかせて  
もらったり、我々が行って皆さんに気づいてもらったことを共有して、ど  
うするのかを前向きに討議しましょうということ。コンセプトを言えばま  
た違ったのかなと思います。

芦谷委員長

他にありましたらお願いします。小川委員。

小川委員

気づきの部分では、例えば原井でやった時に先ほど言った下水道整備の  
関係で、浜田市は「文化が薫るまち」とか言っているけど下水道整備の具  
体的な工事もないようなことでそんなこと言えるのかということから出さ  
れたけども、今までの経過を知っておられる議員さんから説明があったり  
議員から意見が出て、質問された方はある程度納得されたんですよね。そ  
の中である程度共通認識が出来たのはすごく良かったと感じました。また  
参加者の中でも意見交換する中で、杵束でも従来からおられる方とサラリ  
ーマン生活が終わって帰ってこられた方との、地域の雰囲気の見方という  
か。昔からおられる方からすると、そういう見方をする方もおられるのか  
自分らは全然感じなかったけどな、ということを経験を通して感じた方も  
おられました。これは井戸端会の良い所かなと感じました。井戸端会の意  
義はそういう所から少し感じられたと思います。

芦谷委員長

他にありましたらお願いします。柳楽委員。

柳楽委員

今回和田会場でそうだったんですが、結構人数がおられたのでそれを2  
つに分けたんですが、それでも人数が多くて。あの会場で不満があったの  
は、紙に書いてくださいということ。それをしないとなかなか意見が出せ  
ない、1人の人が長くなったりする感じになったので紙に書いていただく  
のを最初にお願したんですが、それがすごく不満だった方もいて、どの  
ように書いたら良いのか分からないとか、やり方自体も難しい、受け入れ  
られない部分もあったのかなという所もありました。人数が多いので紙に  
書いてもらったものを読みあげて貼り出すようにしたんですが、それだけ  
をやって終わってしまった感じになったんですよ。結局、それに対してど  
うなんだろうという所まで行けずに。議員さんの話が長くなったというの  
も……。

( 「あれは議員がいけなかった」という声あり )

なのでこの会を持つ前に一度、全議員でこういう形でという確認をしておかないといけないのかなと。井戸端会に対する議員全体の意識統一も図られていないなというのをすごく感じました。

牛尾昭委員

去年に鎌倉へ視察に行ったけど生の現場を実際には見てないんですよ。議会報告会は京丹後へ行って座談会に最初から参加させてもらって、京丹後の議会報告会を体験したわけです。ですから去年から始めて今年2回目で、我々もまだ、これが本当に良いサンプルになるんだというのを生で見てないから試行錯誤ですよ。そういう意味で大事にすべきなのは、ファシリテーター以外の議員が必要以上に喋らないこと。それは24人の共通項でちゃんと頭に入れておかないといけないが、あとは多少フリーハンドで、自分が喋るなら一言程度に抑えて市民に喋ってもらう時間を作らないと、会そのものが駄目になってしまうので。委員長はまたどこかでちゃんとお願いをされるべきじゃないですかね。

芦谷委員長

はい分かりました。報告会と井戸端会の人数変遷を見ると、国府が4から9人、金城は30が34人、旭が22の27で、三隅が10が20人なので、そういう意味で言えばその辺がある程度浸透していますし、アンケートの2番を見て、良かったというのは良いし、どちらとも言えないというのは面白くなかったんだろうと見て取ったんです。もう1つは5番、参加するというのは良いと思われたんだろうと思うし次も来られるかもしれない。分からないというのはもう不参加。アンケートや参加者の状況を踏まえて、今後のあり方について意見等があれば出してください。岡野委員。

岡野委員

纏めてある程度反省点も出てくると思いますがそれを踏まえて、来年の井戸端会ないし報告会をやるということに活かせるのか。選挙も控えていますし、そういった部分では市民の久保田市政4年間の集大成みたいな物が来年は出てくるんだと思うんです。その場合は早い段階、5月か6月に市民が集まり易い状況になるんじゃないかと思うので、出来るだけ早く先ほど言われた意見抽出なりをしていただき、一般質問に利用していただき、来年度は出来るだけ早い段階で開催することを委員長の中で考えておられるかどうか伺います。

芦谷委員長

このレジュメにありますように、是非来年度の時期等は今日のこの場で決めて欲しいというのが事務局の意向なので、それを踏まえて、報告会のありようを含めて議論していきたいと思えます。よろしくお願ひします。

牛尾昭委員

僕らは班でその話をしているんです。改選期ですから4年前にならって、とりあえず1回だけにしよう、井戸端会と議会報告会を一緒にやって、議

会報告は議会だよりがあるののでどちらかと言えば井戸端会を主にしてやるべきじゃないか、というのがほとんどの意見でした。

ただ、選挙があっても日常活動の延長なんだからやめることはないんじゃないかという少数意見もありました。その方は議会報告会は年4回やっても良いじゃないかと言っています。それは理想なので。5人6人で行くから年に2回になるわけで、2人くらいの班を作っていけば年4回担当して、議会が終わった後にやることは可能だろうなという意見が、僕の班の中で出たということを報告しておきます。従って班の意見とすれば、来年は1回で議会報告を少しやるけど井戸端会を主にやったらどうかという纏めでした。

野藤委員

補足ですがA班B班と分けて2回ずつ、A班は春と秋、B班は12月というように分ける。最低何人出来るかを決めて3人で1組とか、そのように分ければ年4回も可能かなと思うんですが。やり方はまた検討してもらって。そういう意見もあったと。

芦谷委員長

他に発言の無い方を中心にお願いしたいと思います。平石委員。

平石委員

金城の地域協議会であった話なんですけど、それこそ議会だよりを読めば分かるので、もっと自分らの意見を言う、あんたたちの意見を聞きたい、そういった場を私たちは求めているんだと。議会報告するなら行かないよと、はっきり言われる人もおられました。何回も行っている人というのは同じことを聞くわけです。始めて来る人もいるからそれを含めてそういう格好にしているんだという話をするんですけど、実際のところこれを見れば分かるという話になるので、議員とどんな話出来るか、議員さんが一般質問で言えば取り上げてくれたんだと分かるような感じにしていって方が良いのかなというイメージを持ちました。僕は今回、美又、和田、弥栄、長浜に行きましたけど、市民の方は本当に色んな意見を持っておられます。色んな意見を聞きながら、皆さんにお知らせしていくかというのが我々の仕事ですので、そういったことも大事かなと思いました。

芦谷委員長

他に何かありませんか。柳楽委員。

柳楽委員

報告会に関しては今言われたみたいに、だいたい報告会やる時って議会だよりに載っている情報を中心にやるじゃないですか。だけど本当に聞きたいのはそういう所ではなく、市の中で一番話題や問題になっている部分を詳しく聞きたいんだという話もあったんですよ。なので報告会をやる時はそういうことも考えた方が良いなと思うんですよ。

平石委員

議会で提案された話じゃなくて今検討されている話があるじゃないですか。城山の話とか。そういった提案以外で議会と議会の間で、議会がどん

な話をしているのか。今は市とどういった協議をしているのかというのを聞きたいと。

芦谷委員長  
野藤委員

それはなかなか言いようがないわな。野藤委員。

分かっていると言われるのであれば、逆に分からない部分を意見交換、例えば予算とか新年度の事業に関して、ざっとは言っても良いですが何か色々質問があればという形とか。5月も予算中心なので意見交換。それ以外でも言って意見交換を引っ付けるとか。紋切り型で毎回やると「分かってる」と言われる方もいるので、そういう形にするか……裏話は出来ないで。

牛尾昭委員

裏話は控えるべきだと思うんです。ただ、議会であったことであっても議会だよりも載ってないような案件について、市民の方が「これはどうなの」と思っていることについては、井戸端会の中で話を前半に振って伺うというのも1つの考え方で。井戸端会の中で、もし出来るのであれば、そういうのもやり方とすれば良いんじゃないですかね。裏話は個人によって全然見解が違うから、やるのは難しいので。関心を持っておられることについては適切な説明をするのが僕らの役目でしょうから、メリハリを入れたワールドカフェにするのは良いんじゃないですかね。

芦谷委員長  
柳楽委員

はい。柳楽委員。

井戸端会のテーマ設定が、市民の方からすると何だか大きかったり漠然としていたりして議論しにくいという意見も出ていました。中には美又のアンケートに出ていると思いますが、その地域の人たちが話し合いたいことをテーマにしてもらった方が良いという話も出たんですよ。その辺が市民の方と議会側の意識のミスマッチを感じたので、その辺も検討しないといけないのかなと思いました。

牛尾昭委員

良いんじゃないですか、2回やってきてそういうことが見えてきたんで。今まで我々はテーマがあった方が議論がしやすいなという視点でやっていたので、逆に例えば15人のテーブルなら15の方が各々持っている一番大事なテーマを刷り合せて纏めて、その中でではこの件を問題にしましょうよとすれば十分なんですよ。たった2回しかしていないので柳楽さんが言われたように、進化させる必要があるんじゃないですか。良いご意見じゃないですか。

芦谷委員長

最初に井戸端会についてきちんと方向性を示せというのがあったが、私個人的には何があるか分からないから、全体で包含されて内容によっては柱立てして絞っていく感じの方がむしろその場がなごむ気はするんですよ。だからあまりにもテーマを決めつけてかかると、その通りにならなか

ったりする可能性があるのです。その兼ね合いですよね。

牛尾昭委員

だからね、僕らがテーマを決めなくてはいけないということで1、2回目をしたから、市民から「もっとこうして欲しい」という意見が出てきたと思うんです。だから今までのやり方が間違っていたのではなく、何でも進化して良い方向に直していかないとなので、3回目はそこそこ浸透してきたので、今度は市民側からテーマを出してもらって、それによってやるという方向転換をするという意識付けがこの委員会の中で出来れば、その方が。僕らも頭を悩ませてテーマを作らなくても良いわけだから逆に言えば。助かるんじゃないですかね。

芦谷委員長

平石委員。

平石委員

試行という格好でも今度の12月議会だよりまでに会場を決めて、これを出す時に新年度第1回目の議会報告会はどこどこでやります、それについて各会場でテーマを決めたいと思うのでご意見くださいといった予告編でも、この44号で出しておいて。

牛尾昭委員

1ページくらい割いてね。

野藤委員

あと開催場所が決まれば、公民館なり地域の自治会なり、何か身近なテーマがありますかと聞いても良いし。早め早めの対応が必要だと思います。

あと先ほど言われた時間帯。暗い時に行くのかと言われないように、場所によっては昼間の時間帯が良ければそのようにする。曜日とか。考えた方が良いでしょうね。

牛尾昭委員

委員長良いですか。飛野さんに聞いてみたいんですけど、クレームがあったことについてはそちらの地区では、土日、例えば午前・午後という開催の方がより動員が出来るということなんでしょうかね。

飛野委員

その地域においても高齢の方もおられれば勤めに出ている方もおられるし、兼業の方もおられる、色々で一概に言えませんが、先ほど私が言ったように、夜に出ること、いくら近くでやっても出られないという人の意見をどの程度汲みあげてあげるかと。一般的には出てきて当たり前なんでしょうけど、実際問題もう暗くなったら出ないというのが基本なんです。そういう方をどう扱うのか。それを放っておいてもそのままやるかということはあると思います。実際にそういう意見を聞き、やっぱりここまでそういう地域はきてしまったのかと。

牛尾昭委員

例えば三隅の中山間地、中心部でやる時以外は昼間やるとか、地域によってある程度時間帯を設定していった動員の流れを僕らが確認するというのも良いんじゃないですかね。そういう意見があるのであれば。

飛野委員

私が行った所だけじゃなく、各地域そういう方がおられると私は思うん

ですよ。

野藤委員

あと5月なら農作業とかのもあるので、土日の昼間が良いじゃないかということになると、農作業が……田植えが大変なのに何故するんだという意見も出るかもしれませんので、事前の調査も必要じゃないですか。

芦谷委員長

足立委員。

足立委員

今伺う限り、100パーセントの声を拾うのは正直難しい、はっきり言って無理なので。例えば夜にやるならば生産労働人口の人が来られる可能性が非常に高い、もっと言えば高齢者の方は来にくい、主婦も来にくい。では浜田市議会としてどちらの声をこのたびは拾っていくのかという方針というか、考えを決めておかないと100パーセントは無理なので。それだったら同じ会場で1日2回やるとかいう話になってしまうので。そうすると多分幅広い意見は拾えると思いますが、そこまでこの地域井戸端会なり報告会を含めてやっていくという方針であれば良いと思いますが、正直なところ夜は夜で色んな方々が来られて、良い声が拾えたんじゃないかと私は思っています。ただしご高齢の方々の声は拾いにくかったんだろうなという所は正直あります。でも日中やれば今度はご高齢のお話はしっかり聞けると思いますが働いている方々の声は拾いにくい面が出てくるんだろうなと思うので。地域によってこの議会報告会や地域井戸端会が、中山間地域は主に高齢者の声を拾っていきこうという考え方でやるなら日中やって、旧浜田市内は夜にやり、色んな年齢構成の方々からの意見を拾うというやり方であれば、それはそれで良いかなと思いますが。漠然と地域によって時間帯を分けるのはちょっともったいないかなと感じます。

牛尾昭委員

桐生市議会は同じ会場で午前やったり午後やったりしていました。会場は変えずに、その代わり時間帯を変えて行って、時間の合う人が来るというようにやっていました。我々の井戸端会もまだまだ発展途上なので、足立委員が言うようにいくつかパターンを用意して順番にやっていく。いっぺんに全部出来ませんから、今回はこうだという絞り方でやっていくのが良いかも分かりませんね。

野藤委員

箇所数は少なかったんだよね。

牛尾昭委員

そうです。すごい少なかった。同じ会場で時間を変えて、来てくださいます。

芦谷委員長

どう纏めれば良いかな。

牛尾昭委員

例えば年2回やるんで、春はどういう形でやりましょうとか、秋はこういう形でやりましょうと、設定を変えてやるというのも1つの選択肢になるので、そういう形でやるのか。まち中と中山間地と色分けするのか。そ

これはここで決めるしかないじゃないですか。

芦谷委員長

それと先ほど、来年度は1回だけだなと言われた発言があったでしょう。あれとの兼ね合いはどうか。

牛尾昭委員

来年1回だけだなというのは今は頭に入れて喋ってなくて、これからどうあるべきかということで喋っていたんですが。だから分けて言わないといけないので。来年はとりあえず我々の班は、春だけで良いんだろなということで纏めたので。その話と今後の井戸端会はというのは違うので。

串崎副委員長

聞いてみなさい。そこも決めておかないと。

芦谷委員長

ではそこから入りましょうか。来年はどうすれば良いか、何回やるか、方式はどうか。もしあれば順番に出してください。

岡野委員

私は5月1回の開催で、井戸端会形式。場所はローテというか、ある程度入れ替えてピックアップの場所を変えたりしながら。時間については地域の事情もあるでしょうからお任せします。私は夜の方が良いんじゃないかと思うんですけども。昼間というとうどうしても働いている方が来られないので。私個人の意見はそうです。

芦谷委員長

野藤さんお願いします。

野藤委員

私も1回で、井戸端メインにして尚且つ年度初めなので事業等の報告もさらっとしていただく。質問も受ける。1部、2部形式でやって、合体させた方が良い。時間帯については場所によって日中したり夜したりが良いと思います。女性の参加を思うのであれば女性が出やすい時間帯を考慮してやれば。とにかく早めが良いと思います。第1回告知、第2回告知というように早めに。

芦谷委員長

柳楽さんお願いします。

柳楽委員

春は10会場で秋は8会場ということになっているじゃないですか。今までどおりに春10会場にするのであれば、その中でどこか昼の時間帯を設けてみるという形も出来るのかなと思います。ただ来年は5月のみに控えておいた方が良いんじゃないかなと。

芦谷委員長

はい、小川委員。

小川委員

私も開催回数は春1回というのが妥当かなと感じています。テーマについては先ほど言われたようにあらかじめこちらから決めるのではなく、皆さんから出してもらおう中で、今日はこのあたりのテーマでどうでしょうかという形の方が良いかなと思います。議会報告も、毎回議会のしくみだとかいう所から全部説明していますが、ああいう所はもういらないかなと。全然これは意味がないなという部分がありますので、せめて当初予算のあたりからだけでも簡単に要点だけ報告する方が良いかなと。だいたい1時

間半くらいという限られた時間ですから、あまり時間を取ると井戸端会にならない感じがします。僕が参加した回は2ヶ所で合計7人中、女性はお一人しか来られていませんでした。そこを意識するなら夕方の食事準備・片づけの時間帯というのは外した方が女性は参加しやすいかなと。参加された男性からもそういう意見があったので。そこを意識するなら時間的・試行的に、日中にするということも何ヶ所かは工夫した方が良いかなという感じがします。女性に参加していただくということで今回はこの時間帯に設定しましたということをお知らせした方が良いと思います。

芦谷委員長

足立さんお願いします。

足立委員

私の個人的希望を言うのであれば来年も年2回です。時期としたら5月と12月ぐらいで。年2回というのは崩したくないなというところが正直あります。やむを得ず1回でもそれは仕方ないかなと思いますが。内容については井戸端会方式の形で行った方が良いのかなと思います。時間帯はやっぱり夜の方が良いかと私は思います。

芦谷委員長

飛野さんお願いします。

飛野委員

年2回ですね井戸端会。そこで春の議会報告会、井戸端会に付加するような格好で時間配分を考えて、合理的にとにかく話し合いをする井戸端会形式をやりたい。時間帯はケースバイケース的な所があります。地域の。

芦谷委員長

平石さんお願いします。

平石委員

5月にやるのが妥当だろうなと思っています。このメンバーで話が出るのは10月までのことでしょうか、あとはまた違うメンバーでやられることだと思うので、それこそ12月以降3月までのところでもう1回やろうという意見も出るかもしれませんし。とりあえず今の委員の中でやるのは、とりあえず1回やりましょうと。市民から出た事情をピックアップした上で井戸端会形式を取った方が良いのかなと思っています。会場は1回ということになれば8箇所が良いかなと思っています。時間帯は各場所で考えてみることも良いのかなと。とにかく早く情報を出すためにも44号のところ、いついつやりますということで。

田中書記

それをしようと思えば、まず会場と時間帯を決めて会場を押さえておかないと出来ないんじゃないかと。それが出来れば可能だと思います、2月までのところ。この次が2月1日発行になりますので。

足立委員

公民館の予約は取れたかな。

田中書記

公民館の予約は5月ですので、だいたい新年度にならないと取れないんですが。

平石委員

あらかじめ「これをやるから」とねじ込んでおいてもらえば良いんじゃない

ないの。

田中書記 ……という形です。44号が2月1日発行ですので、これには載せた方が良くないと私も思うんです、予告としてするのであれば。

芦谷委員長 牛尾昭委員、補足があれば。

牛尾昭委員 いや僕は言いましたので。

芦谷委員長 はい、串崎副委員長。

串崎副委員長 もちろん来年は5月1回で賛成ですし、井戸端会的なものを中心にやるべきだろうと感じています。田中さんに聞いてみたいんですけど、折角ところどころで良い意見がありまして、もちろん私らも纏めて言うのは大事だと思いますけど、結構行政職員さん出ていらっしゃいますけど、農業なら農業、財政なら財政とかいう、ちょっとある程度の力強い課長さんから上の人を、こちらから言って来てもらうか分かりませんがその場に居るべきだと思うんですよ。市民の声がせつかく言われているので、私らも聞くけど行政のある程度力の強い方も聞いて、そういう意見があったということ部の方で話をしてもらったり、折角なのでこちらから言うのも全部伝わらない部分もありますので、だからそういう方に強制的に出てもらえるものかもらえないものかという所が。私は気持ちとしては出て貰いたいですけど出来ないかなというのを検討していただきたいかなと。

田中書記 良いですか。一応今仰るように強制は出来ないと思います。市民の方と議員さんの意見交換ですので、職員さんに強制的には無理だと考えています。

串崎委員 もう少し言わせてもらえば大事なことですし、本当は良いことだと思うんですよ。そういうこと自体、市長の判断で性急にやるなら本当に良い意見があるなら担当の方が出るべきという意見もあったようですし、臨機応変な考え方も大事かなと、私は個人的に思いました。

芦谷委員長 分かりました。野藤さん。

野藤さん 今は多分場所ありきみたいな形で何ヶ所か行っていますが、場所と団体、例えば女性の団体。子育て中の方の団体とかPTAとか、女性の意見を聞きたいのと投げかけるとか、学生とか。そういうのをポイントで入れたらどうかなと思いました。来年1回とのことで。その他何かあるかなと思ったらNPO団体や、地域おこしをやっている団体、生産者団体、文化団体、そういう所との意見交換をしますよということで、地域とそういうものをピックアップしてやれば面白いのかなと思ったんですが、どうでしょうか。

芦谷委員長 重要案件の意見交換会が今の所機能してないんだよね。今の話はどちら

かと言えはそっちの方へ軸を置いて、1つの団体に向けて出かけましょうみたいなことの方が良いと思うんだがね。どうでしょうかね今の問題は。新しい意見ですが。

牛尾昭委員

だから、重要案件の意見交換会が機能してないというのは、とりあえずそれらの団体に重要案件がないという認識で良いと思うんですよ。ただ、今度我々が出かけていく、「お出かけ井戸端会」というのを広報広聴委員会として僕らがやっていけば良い。年間スケジュールを組んで行きましよう和我々の中で決めて。委員会条例の中にやってはいけないという定義はないもんね。この委員会でまとめて年に何回か出かけていく。それは委員会の独自性だから問題ないんじゃないですか。各常任委員会が色んな参考人招致とかいろんのことやっているじゃないですか。だからそれはそれで、改まってやることはないのです。本来やっていて当たり前のことなので。

串崎副委員長

年1回はもう決まったんだから、会場を皆さんの意見を聞いて決めてもらって。

芦谷委員長

会場を前のものに返して、公民館にUターンするのか、今みたいに各集会所を回るのかということだと思っただがね。野藤さんが言われた各団体等は、またその時にもし必要があれば考えて、別に案内しても良いと思うんだがね。どうでしょうかね、回数については。

野藤委員

先ほどから言われるように女性の参加が少ないし、男性の中に入るとなかなか意見が言いにくいという所もあるので、例えば女性の団体で意見交換を1つ入れるというのも、来年度はちょうどタイムリーなのかなと思ったりしたんでそういう意見を言ったんですが。

牛尾昭委員

それはプラスアルファでやるべきじゃないかな。通常のはこなして、今言うように例えば子育て中の方がおられるとか、いくつかピックアップして、女性団体1ヶ所と言ったら問題があるだろうから、例えば福祉関係もあるじゃないですか。それはそれで別メニューで、それを議員全体でやろうと言えは皆に負荷がかかってもしかしたらやらないかもしれないから、常任委員会だけでもそういうことを試行的にやっていくということを決めて、広報広聴常任委員会で例えば2班くらい委員班と副委員長班とに分けてやってみても良いんじゃないかと思います。

野藤委員

もうちょっと敲いた方が良いですかね。

牛尾昭委員

うんもう少し。良いことなのでやるべきだと思いますので。

芦谷委員長

そういったことで、出にくい団体等を補足するという意味で、場所数を決めていただいて井戸端会方式で5月に1回する。それプラスアルファで例えば6、7月頃にもしそういったことが可能であれば、各団体にお伺いしな

がらこの委員会でやるということによろしいでしょうかね。

それでとりあえず、井戸端会の場所と会場数を決めましょう。10回ですか、8会場か。

牛尾昭委員

回数より地区を決めていって詰めた方が良いんじゃないの。今年で言えば弥栄は杵束でやったら今度は弥栄でやるわけですよ、ここはもう決まるじゃない。金城は波佐でしょう、それで決まるわけ。あとはどうするかということをやっていけば自ずと出てくるんじゃないですかね。

芦谷委員長

飛野委員。

飛野委員

新年度ですから、例えば三隅の場合だったら地域でなく三隅公民館に帰るべきだと思います。

串崎副委員長

三隅公民館ですね。

芦谷委員長

旭は。

( 「旭は今市で良いのでは」 という複数の声あり )

牛尾昭委員

今4ヶ所決まったんですか。

田中書記

旭は何て言われましたか。

( 「今市」 という複数の声あり )

田中書記

今市。

芦谷委員長

あと浜田はやっぱり2日か。

牛尾昭委員

周布、美川、国府、浜田、石見の5ヶ所にして、9ヶ所でも良いじゃない。

田中書記

先ほどの話だと8ヶ所にしようということでしたが。

足立委員

では周布と長浜を1つにするか、浜田と石見を1つにするか。

牛尾昭委員

浜田と石見を1つにしてやっても良いじゃないですか。どちらにするかはもう少し時間をかけて。

芦谷委員長

それなら、浜田と石見、周布と長浜を一緒にするということですか。それと国府。

牛尾昭委員

うん。ちょうど良いじゃないですか。

芦谷委員長

ではそういうことで。

田中書記

公民館は……。

足立委員

国府と美川と。

牛尾昭委員

周布と長浜は集約してどこかにする。

岡野委員

長浜来ないから周布で良いんじゃない。

芦谷委員長

今回は周布だろうな。

田中書記

国府公民館、美川公民館、周布公民館。

牛尾昭委員

浜田と石見をどちらにするかだな。

足立委員

浜田でいきますか。根拠はないけど。浜田公民館の方がまだ人が来るか

牛尾昭委員 かもしれないし。  
そうすれば8つだ。  
《 以下協議 》

田中書記 良いですか、波佐公民館（ときわ会館）、旭センター、弥栄会館、三隅公民館、班はこのままで。

牛尾昭委員 班もやっぱりメンバー変えた方が良くないじゃないですか。  
平石委員 新年度だから。  
牛尾昭委員 班長はこのままにしておいて、他の人を変えるというようにすれば。  
芦谷委員長 議席番号を1個ずらしてやれば良い。  
牛尾昭委員 そんなに面倒くさくないと思います。  
芦谷委員長 はい。ではたつての要望があったもので、班を変えます。  
田中書記 正副で変えられますか。  
芦谷委員長 班長はそのままで。  
田中書記 班長さんから、負担が多いという話をお聞きしているのですが、その辺はよろしいですか。

串崎副委員長 それはなかろう。  
牛尾昭委員 どうしても困るという人がいらっしゃれば変えてあげなさいよ。困るといふなら。委員長が大変なら副委員長がするとか、どうしても大変だと言ふ人がいらっしゃればだよ。

芦谷委員長 広報のメンバーがカバーすることにしようや。  
足立委員 班長そんなに負担があるかな。  
田中書記 という話を聞きまして。  
柳楽委員 班長さんによっては事前の勉強のために資料を揃えたりだとか、される方もあるので、そういった所かもしれないし。

足立委員 その場しのぎは出来ないのか。  
田中書記 各議員さんで捉え方が違いますので。  
牛尾昭委員 どうしても班長変わりたいという人がいらっしゃれば副委員長さんがいらっしゃるから、副委員長にやってもらえば良いじゃないですか。副委員長以外の人を持っていくのも問題ですよ、誰に頼んで決めたんだということになるから。

平石委員 それくらい委員長は重いんですよ。  
田中書記 責任を持ってやっていただいているので、色々皆さんの所に行っていただいたり。なので広報の方がサポートしていただくと良いかなと。

牛尾昭委員 もし本当にそんな班長さんがいらっしゃれば、班長変えてあげないと。  
芦谷委員長 そろそろ締めようと思います。

田中書記 日程がどの辺というのが分かれば、予定を見てみますので。

足立委員 ちなみに今年はいつでしたっけ。連休明けの翌週でしたっけ。

平石委員 5月9日の週。連休明けてすぐ。連休の翌週。

足立委員 それで良いんじゃないですか。

牛尾昭委員 11、12、13、14でやっているよ。

田中書記 9日は特三が浜田であるので。5月9日は駄目ですね。

芦谷委員長 水、木、金、土でどうかな。どこかで土曜日を入れないとでしょう。

田中書記 去年5月14日土曜が、午前中に美川と国府をやって、午後から長浜と浜田をやっています。1日4ヶ所です。

芦谷委員長 会場押さえはまだ出来ないよな。まだしない方が良いな。一応これで考えてみようじゃない。ざっと入れてみてから。

足立委員 3日間で出来るじゃない。

田中書記 土曜に4ヶ所行くなら3日間で行けます。でも忙しくなりますが。  
 ( 「2、2、4で行きましょう」という複数の声あり )  
 では5月11日(木)、12日(金)、13日(土)で4ヶ所で、あとは2ヶ所で良いですか。  
 ( 「はい」という声あり )

分け方とすれば、土曜日を先に決めてもらえると。土曜日にしたい所は。

足立委員 旧那賀郡は平日の方が良いですか。

飛野委員 例えば三隅であればまち中だから晩で良い。

足立委員 弥栄は。

串崎副委員長 弥栄は晩で良いですよ。

《 以下協議 》

芦谷委員長 はい決めますよ。木から金までが夜。土曜日は13時か13時半からと18時か。

田中書記 昼でしたら14時から15時30分。夜だったら同じように19時から……。

芦谷委員長 早めても良いじゃない。

足立委員 6時半にしよう。20時まで。とりあえず夜は。

柳楽委員 仕事の人は厳しいんじゃないですかね。

足立委員 土曜の晩が18時30分で、平日は19時にしようじゃない。

牛尾昭委員 人が来るかな。

芦谷委員長 それはまた後で決めましょう。一応その時間を取っておいて。では日にちと時間と場所を発表出来るかな。

田中書記 場所は振り分けてないですがどうしましょう。一応日程と時間を言いますでしょうか。5月11日(木)、5月12日(金)、5月13日(土)です。11日は

夜2ヶ所、19時から20時30分まで。12日も2ヶ所で19時から20時30分まで。13日（土）は4ヶ所、昼の部が14時から15時30分まで、夜の部が18時30分から20時まで、ということで日にちと時間です。土曜の4ヶ所については希望があれば手を挙げて……。

芦谷委員長  
田中書記

何か希望がありますか。意見は。

先ほどの話でいくと中山間地域をこちらに持ってくるということになりますよね。

足立委員  
芦谷委員長  
飛野委員  
足立委員  
芦谷委員長

美川と国府にしますか、土曜日の昼は。

美川と国府を土曜の日中。早いもの勝ちですよ。三隅は。

晩で良い。平日。

初日行きますか。木曜日。

波佐は。

波佐は夜、いついつやりますと言えば人は集まります。

平石委員  
足立委員  
芦谷委員長  
足立委員

三隅と波佐。

三隅・波佐。2日目、12日は。

弥栄金曜日にしますか。はい。

（ 「旭」という声あり ）

田中書記  
牛尾昭委員  
野藤委員  
田中書記  
牛尾昭委員  
岡野委員  
牛尾昭委員  
芦谷委員長

では市内が土曜日で良いですか。

市内は土曜に出にくいかも分からないよな野藤さん。

でも残っているのが……。

浜田と周布。周布がどうも人が少ないんですよ。

少ないね。周布2回行ったけど4、5人だな。

声かけて来てもらうくらいの話で、自ら来るような人がいないんですよ。

でも周布と長浜を纏めると言えば周布。

では日にちと場所と時間帯については確認されましたか。

（ 「はい」という声あり ）

はい。そういうことで進めますのでよろしくお願いします。

田中書記  
芦谷委員長  
牛尾昭委員  
芦谷委員長  
牛尾昭委員  
芦谷委員長  
田中書記  
芦谷委員長

班編成についてはどうされますか。

委員長さんを固定して、議席番号を1つずつずらして当てましょう。

正副委員長さんが決めてください。

はい。

変えた方が良いという意見が出たことを踏まえて正副委員長さんで。

1番外して2番からずらせば良いでしょう。

委員会構成なので。

あとが決まればこうするんだ。またこちらで決めさせてもらいます。案

田中書記  
芦谷委員長

を作りますから。  
次回の委員会までで良いですか。  
はい。

## 2. その他

芦谷委員長  
田中書記

議題2のその他です。

議会日より第44号発行日程を付けています。毎回同じやり方ですが、12月2日に常任委員会終了後、正副と事務局で打合せをさせていただきます。12月定例会が始まりまして8日、個人一般質問終了後に委員会を開催し、レイアウト等を提示します。この時に先ほど言われた班編成ですとか、地域井戸端会の報告の振り分けたものを提示すればよろしいですかね。

芦谷委員長  
田中書記

お願いします。  
(以下、資料をもとに説明)

10日に校正作業をすることにしてはいますが、本当はもっと前に持って行きたかったんですが、柏村さんの仕事納めや仕事始めの都合もありまして、記事の納品が無理とのことだったので下げさせてもらっています。皆さん予定をしておいていただけたらと思います。

芦谷委員長  
平石委員  
芦谷委員長  
田中書記

平石委員。  
22日おりませんので。  
はい分かりました。

要望活動ですね。すみませんそれも考慮したんですけど、21日もおられないということで、下から遡って計算したらどうしてもこの日でないとということなのですみません。

芦谷委員長

以上、よろしいでしょうかね。井戸端会関係については日程が決まりました。この次に資料を定めてから提案します。それから前の件の今回の報告会については、これを委員会名で添書をつけて各議員に配ることと、中身については議論するために少し整理をして次の会議にかけようと思っているのでよろしくをお願いします。

田中書記  
芦谷委員長  
田中書記  
芦谷委員長  
牛尾昭委員

先ほどの報告を議員さんに配るのは、いつまでですか。  
今日だ。  
今日中にですか、分かりました。  
ということで、一応予定していた議題は終わりました。牛尾昭委員。  
来年が改選期ですので、委員会でも聞かれたんですが、視察を4月の早い時期にやるべきだろうと思うので、今からそのつもりでないといの委

員会も準備をされるので。広報で準備した方が良いと思います。一応提案しておきます。

芦谷委員長

はい。それなら世話役さんを決めれば良いな。

牛尾昭委員

いつも私がやっているから、私がやっても良ければ良いけど。絶対誰かやりたいという人がいらっしゃればお譲りしますが。

芦谷委員長

どうですか、行政視察を我こそはやってみようという方おられますか。

串崎副委員長

野藤さんどうですか。

野藤委員

いえいえ。前回多分一緒にやったような気がするので。

牛尾昭委員

他に希望者がいらっしゃらなければ、また私と野藤さんとでやらせていただいても。ただ野藤さんの了解を取っておりませんが。ただ、原則で萩・石見を使うというのがありますので。

芦谷委員長

では世話役の長を牛尾さん、野藤さんにやってもらうということで、一応拍手をお願いします。

( 一同拍手 )

では、これで終わりたいと思います。

[ 12時 02分 閉議 ]

浜田市議会調査会規程第6条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 芦谷英夫